

〈秋季例会報告〉大鹿村（塩河・鳥倉林道）の観察会（187・188 回例会）

堤 久*・小林 正明**

第 187・188 回例会は、平成 19 年 10 月 13 日（土）～14 日（日）に、大鹿村塩河、ならびに鳥倉林道で行われた。

両日の参加者は中山洸会長、川上美保子、田中光枝、戸谷弥生、篠原喜運、勝山輝男、越石敏江、小口好久、林一六、安斎好廣、橋渡勝也、中山博子、白井幸長、藤田淳一、竹重聡、佐藤利幸、片桐知之、早坂祥彦、蛭間啓、小林正明、堤久で、13 日は上野勝則、上野由紀枝、14 日は伊藤武、溝口紀泰、溝口暁子の各氏で計 26 名であった。

第 1 日目は、午後 1 時までに大鹿村鹿塩の山景館に集合し、宿舎の東方、塩河周辺を道路沿い（標高 650 m～800 m）に観察をした。

出現した草木は、アイノコクマワラビ、アカネ、アケビ、アケボノスミレ、アケボノソウ、アサダ、アシボソ、アブラススキ、アベマキ、アメリカネナシグサ、イガボビエ、イシミカワ、イタチハギ、イヌコウジュ、イヌワラビ、イノコヅチ、イロハモミジ、イワトラノオ、イワヒバ、ウルシ、ウミズグサ、エビガライチゴ、オオイヌタデ、オオツルイタドリ、オオハルタデ、オクマワラビ、オシャグジデンダ、オトコエシ、オモダカ、カゼクサ、カセンソウ、カツラ、カワラハンノキ、キチジョウソウ、キハギ、キブシ、キンミズヒキ、クサイ、クサギ、クサボタン、クジャクシダ、クズ、クヌギ、クマイチゴ、クマワラビ、クモキリソウ、ケタチツボスミレ、ケヤキ、ケンボナシ、コウゾリナ、コウホネ、コゴメヤナギ、コシオガマ、コナラ、コボタンヅル、ゴマナ、ササガヤ、シナノガキ、ススキ、ダイコンソウ、タケニグサ、タラノキ、ダンコウバイ、チヂミザサ、ツリフネソウ、トラノオシダ、ナガオノキシノブ、ナガバエノキグサ、ナガバナツノハナワラビ、ナギナタコウジュ、ナンバンギセル、ネズミガヤ、ノカンゾウ、ノコンギク、ノブドウ、バイカウツギ、ハシバミ、ハナタデ、ヒオウギ、ヒゴクサ、ヒツジグサ、ヒメウツギ、ヒメコウゾ、ヒメシダ、ヒメレンゲ、ヒヨドリバナ、フキ、フサザクラ、フジ、ブタクサ、

フタリシズカ、ホザキフジウツギ、ミズ、ミズキ、ミソハギ、ミチシバ、ミツバ、ミツバアケビ、ミツバフウロ、ミヤマシケシダ、ミヤマネズミガヤ、メギ、メナモミ、ヤエムグラ、ヤブマメ、ヤマゼリ、ヤマブキなど。

夕方、宿に帰り、夕食をとった後、研究会を行った。「ニホンジカの食害について」（小林正明）と「赤石山脈に分布するトウヒ属とシダ植物」（堤久）が話題提供され、その後、長野県植物研究会 40 周年の記念行事のあり方について話し合った。

第 2 日目は、朝食後、車に乗り合わせて、大鹿村大河原の鳥倉林道の登山者用の駐車場まで行き、そこから、登山口までの林道、約 4 キロメートルを歩き道沿いや林の草木を観察した。標高はおおよそ 1600 m～1700 m ほどであった。

出現した草木は、アカショウマ、アサダ、アズマヤマアザミ、アブラチャン、アマニュウ、イケマ、イタドリ、イチョウシダ、イヌコリヤナギ、イヌザクラ、イヌトウバナ、イボタヒョウタンボク、イラモミ、イワウサギシダ、イワガネゼンマイ、イワキンバイ、イワデンダ、イワトラノオ、ウシノケグサ、ウツギ、ウド、ウメバチソウ、ウラゲエンコウカエデ、ウリハダカエデ、エゾノギシギシ、エゾハタザオ、エノコログサ、オウレンシダ、オオイタヤメイゲツ、オオカメノキ、オオバアサガラ、オオバコ、オオモミジ、オニイタヤ、オオツルイタドリ、オニルリソウ、オノエヤナギ、オヤマボクチ、カゼクサ、カツラ、ガマズミ、カラマツ、カントウマユミ、キタゴヨウ、キリ、キリンソウ、クサコアカソ、クサヨシ、クマイチゴ、クロモジ、コウシンヤマハッカ、コウゾリナ、コオニユリ、コカラマツ、コゴメオトギリ、コゴメヤナギ、コテングクワガタ、コヌカグサ、コハウチワカエデ、コブナグサ、ササガヤ、サルナシ、サワグルミ、サワシバ、シナノコザクラ、シモツケ、シュウリザクラ、シラネセンキュウ、シロバナシナガワハギ、シロバナイチゴ、シロヨメナ、スグリ、ススキ、スズタケ、ダイモンジソウ、ダケカバ、タツノヒゲ、タラノキ、チダケサシ、チドリノキ、ツリバナ、ツルデンダ、テンニンソウ、トウヒ、トガクシデ

* 堤 久 〒399-3303 下伊那郡松川町元大島 1008-15

** 小林 正明 〒395-0001 飯田市座光寺宮崎 2155

ンダ、トダイアカバナ、トダイハハコ、トヨグチイノデ、ナガミノツルキケマン、ナナカマド、ニガキ、ニシキウツギ、ニッコウナツグミ、ニワトコ、ノリウツギ、バッコヤナギ、ハナイカリ、ハリギリ、ハリブキ、ハリモミ、ハンショウヅル、ヒメウツギ、ヒメノガリヤス、ヒメバラモミ、ヒロハヘビノボラズ、フジアザミ、ヘビノネゴザ、ベンケイソウ、ホソエカエデ、ホソバハナウド、ミズキ、ミズナラ、ミチシバ、ミヤマニガイチゴ、ミヤマタタビ、ミヤマモジズリ、ミヤマシャジン、メグスリノキ、モトゲイタヤ、ヤクシソウ、ヤツガタケトウヒ、ヤハズハンノキ、ヤブヘビイチゴ、ヤブレガサ、ヤマカ

モジグサ、ヤマゼリ、ヤマハハコ、ヤマハンノキ、ヤマブドウ、ヤマホタルブクロ、ヤマヨモギ、ヨツバヒヨドリなど。

2日間の案内は、当番の堤久、小林正明が勤めた。両日とも秋晴れに恵まれ、赤石山脈に生育しているトウヒ属の観察もすることができ、所期の目的が達することができた。また、県外からはるる勝山輝男、中山博子、早坂祥彦の各氏も参加され、親交を深められたことも嬉しいことである。

上記のフロラについては、川上美保子氏から情報もいただいて作成したものである。感謝です。

(文責 堤 久)



写真1 第2日目 鳥倉林道終点付近